

TADESKA ワークショップ報告

日時：2014年7月5日(土) 10:30~12:30 (後半の11:30~12:30を担当)

場所：関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア)1404教室

テーマ：「所要時間20分の教案を作る ~基数詞~」

担当者：江澤 照美

使用言語：日本語

参加者：担当者含め12名

ワークショップの趣旨

スペイン語の基数詞のしくみを教えることは教師にとってそれほど難易度が高くないと思われる。学生に声を出させて発音練習もして、100万の複数形の作り方まで教えて、はい、OK! 次に進みましょう!... という感じで担当者はこれまで教えてきた。

しかし、そうやって教えた基数詞が後日の学生の記憶にあまり残っていないのが悩みのたねでもあった。授業がずっと先に進んで講読の文章を学生に音読させると、アラビア数字で書かれていてもスペイン語で読まねばならない個所ですまってしまう学生が少なからずいる。動詞の活用と同じように、基数詞もそのしくみを覚えてもらわないとどうにもならない。そこで、学生が基数詞をすぐ忘れてしまうという状況を改善するために、学習者の心に残るような基数詞の授業を20分でおこなう教案作りを試みた。

ワークショップ当日は、問題提起のあと、RAEが2010年に刊行した *Ortografía de la Lengua Española* のいくつかの例をもとに、正書法の変更の影響を今後受ける可能性がある基数詞に言及した。スペイン語教師は、アカデミアが提唱する規範の変更点について、それを必ずしもすぐに授業に取り入れる必要はないと思うが、近年の規範の動向については知っておく必要があると思われる。ただし、今回のワークショップでは基数詞をめぐる正書法の変更はあくまでも参考情報として紹介するにとどめた。

基数詞を教えることに話を戻したい。基数詞は動詞の活用形とは異なり、導入後に他の課であらためて扱う場面が限られているため(時間表現、日付や値段を言う、など)、学習者の印象にあまり残らず、簡単に忘れ去られる傾向がある。学習者が基数詞を学んだあとにもう少し興味を持ち続けるよう、導入時に何らかの工夫をすべきであると担当者は考えた。

そこでこれまでの自分の教え方を振り返ってみると、基数詞は教えるべき事がある程度決まっていることもあり、新出項目を淡々と導入しがちであった。しかし、この説明の仕方こそがのちに学習者に忘れ去られる要因になっているように思えた。そこで、基数詞導入時に、Can-do形式で基数詞を覚える種々のメリットを列挙することを思いついた。

説明を増やすと授業進度に影響してくる。しかし、要領よく教えても、それが学習者の記憶に残っていないようでは時間的な効率ばかりを追い求めるのもよくないということに

なる。そこで、今回のワークショップの模擬授業では、基数詞を 20 分間で一気に教えることではなく、教える基数詞の範囲を限定し、基数詞を学ぶことの意味を学習者に気づかせることを目指すことにした。

模擬授業

以上のような問題提起と目標を掲げたあと、模擬授業を実施した。参加者には事前に以下のような知識を持つ学習者に対する授業をおこなう旨を伝え、生徒役をお願いした。

- 1) 基数詞の 0 から 10 までは導入済み。何とかテキストを見ずに言える
- 2) 時刻や日付の表現は未習

授業では大学生向けのスペイン語テキストが使われているという前提で、初級文法で出てくるすべての基数詞の一覧が示されたプリントを用意し、さらに担当者が作成したプリント「スペイン語で数字を覚えたらできること」を授業の途中から配付した。特に参加者に対して予告していなかったが、今回の模擬授業は PowerPoint を使用せず、普通の授業のスタイルでおこなうことを当初から決めていた。

模擬授業で扱った基数詞は 11 から 100 までである。教案作成開始時には 1000 まで扱うことを予定していたが、説明に予想以上に時間をとられることが準備段階で予想されたため、導入する基数詞は 100 までに変更した。それでも実際に模擬授業をおこなってみると 25 分ぐらいかかってしまった。自分自身の反省点としては、板書を交えての説明の仕方に無駄があり、学生向けのアクティビティがやや単調で時間も十分とは言えず、この点改善の余地が大いにあると考えている。参加者からは基数詞を使う活動のアイデアをいただいた。また、模擬授業には反映させなかったが、正書法の変更について参加者同士で意見交換をした。参加者より示唆していただいた計算やビンゴなど基数詞を使うアクティビティを今回用意できなかったのも、これについては今後の課題としたい。また、最後のカウントダウンは授業の終わりに使えるとの感想もいただいた。最後に多少なりとも盛り上がった感じで授業を終わることができるので、これは私からもおすすめしたい。

参考資料・サイト

Fundéu BBVA “Novedades de la *Ortografía de la lengua española*”

<http://www.fundeu.es/wp-content/uploads/2013/01/FundeuNovedadesOrtografia.pdf>

ガルシア他 (2005) 『プラサ・マヨール II ーレベルアップ・スペイン語ー』朝日出版社
Gómez Torrego, L. (2011) *Ortografía y gramática Las normas académicas: últimos cambios*, Ediciones SM.

Instituto Cervantes (2006) *Plan Curricular del Instituto Cervantes: Niveles de Referencia para el Español*, segunda edición, Madrid, Biblioteca Nueva, 3 tomos.

Real Academia Española (2010) *Ortografía de la lengua española*, Asociación de academias de la lengua española.